

高梁川流域キッズ

たかはしがわりゆういき
高梁川流域ゆかりの
偉人・賢人特集



活躍した年:

1672~1733年



活躍した分野:

代官



ゆかりのある場所:

・威徳寺
・井戸公園
・道の駅笠岡

ベイファーム



いど へいざえもん 井戸 平左衛門

新高 高 総 早 倉 矢 井 浅 里
見 梁 社 島 敷 掛 原 口 庄
市 市 市 町 市 町 市 町

笠岡市



いどへいざえもん かんぶん ねん う
井戸平左衛門は、寛文12（1672）年に生まれました

きょうほろ ねん がつ さい いわみぎんざん う も いわみのくにおおもり いま しまね
享保16（1731）年9月、60才のとき、石見銀山を受け持つ石見国大森（今の島根
けんおおたし だいかん にんめい よくねん びつちゅうこくかさおかだいかん けんむ
県大田市）の代官に任命されました。翌年から、備中国笠岡代官を兼務しました。

このとき西日本一帯はウンカの大発生によっていまだかつてない大飢饉となっていました。
へいざえもん じたい いっこく あらそ はんたん ぼくふ めいれい ま どくだん だいかんしょ こめくら かいほう
平左衛門は事態が一刻を争うと判断して、幕府の命令を待たずに独断で代官所の米蔵を開放
う ひとびと こめ あた ひがい おお むらむら ねんく おも き
して、飢えた人々に米を与えたといひます。また、被害の大きな村々の年貢を思い切ってやめ、
ひとびとに助け合いの心を説きました。さらに、やせた土地でもとれる食物として甘藷（サ
たまいも）をとりよせて育てさせ、飢饉をしのぎました。こうした平左衛門の努力が実って、
かさおか う じ ひと つた いま かせおか ひとびと へい
笠岡ではひとりも飢え死にする人はなかったと伝えられています。今でも笠岡の人々は、平
ざえもん だいかん よ かんしゃ きも も
左衛門のことを「いも代官」と呼び、いつまでも感謝の気持ちを持っています。

へいざえもん しご かくち こうせき しょうとくひ た かす すうひゃつかしよ
平左衛門の死後、各地に功績をたたえる頌徳碑が建てられました。その数は数百カ所にも
はか かせおか そうとうしゅういとくじ かせおかししていき
なるそうです。墓は笠岡の曹洞宗威徳寺にあり、笠岡市指定史跡となっています。